



2016年10月



読書週間のシンボルマークはなぜ『ふくろう』？



今年も秋の全国読書週間が、10月27日から始まります。シンボルマークは、なぜふくろうなのか知っていますか。古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目に大きなメガネをかけた、すまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしたいといひます。森の奥ふかく、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものと考え、読書推進運動協議会では長い間使用してきたとのこと。



Teachers

小楠先生（保健体育）

三四郎

夏目漱石著（岩波文庫）

日本の代表作家ですので、是非読んでみて下さい。今の若者にも通じる様々な問題が描かれています。



ハマる

山田先生（福祉）

四つの終止符

西村京太郎著（講談社文庫）

トラベルミステリーの第一人者として知られる著者の初期の作品である本書は、社会派推理小説に分類される。聾者の怒りの代弁がミステリーの中に込められた本書に著者の社会感覚の鋭敏さを見ることができるといえる。



ハマる
考える

Students

31・27HR 図書委員

64（ロクヨン） 上下巻

横山秀夫著（文春文庫）

ロクヨンにまつわる不可解な謎。刑事部と警務部の確執・弱みを握られ、葛藤する三上などをおり混ぜストーリーが展開します。



南総里見八犬伝

曲亭馬琴著（角川ソフィア文庫）

八犬士たちが、不思議な玉に導かれ困難を乗り越え出会うまでの前半と、母の国を守るために里見家の家臣として戦う後半からなる小説です。



毒の科学

齋藤勝裕著（サイエンス・アイ新書）

自然界には恐るべき毒をもつ生物が存在する。人間が作り出す化学物質の毒もある。生物たちの毒から人間自身が生み出す毒を紹介した本です。



知られざる鉄の科学

齋藤勝裕著（サイエンス・アイ新書）

鉄筋・鉄骨の構造物や磁性による記録媒体などにも姿を変えて、鉄は私たちの社会のあらゆる面で支えている。その鉄の秘密を解き明かしてくれる本です。



10月の新着本紹介コーナー

No	書名	著者名	出版社
1	10代の憲法な毎日	伊藤 真	岩波ジュニア新書
2	海の見える理髪店	荻原 浩	集英社
3	IoTとは何か	坂村健	角川新書
4	お買い物で世界を変える	日弁連消費者問題対策委員会	岩波ブックレット
5	寿命はなぜ決まっているのか	小林武彦	岩波ジュニア新書
6	和食とうま味のミステリー	北本勝ひこ	河出書房新社
7	カエオナー・カエスタフ・パリジになるには	安田理	ベリかん社
8	武帝	富田健之	山川出版社
9	テオの「ありがとう」ノート	クロディーヌ・ル・グイック著 坂田雪子訳	PHP研究所
10	何様	朝井リョウ	新潮社
11	少女は卒業しない	朝井リョウ	集英社
12	運動するから健康である	宮下充正	東京大学出版会
13	川勝先生の物理教室 上・中・下	川勝博	海鳴社
14	教えることの復権	大村はま、刈谷剛彦、刈谷夏子	筑摩書房
15	ブルーネス	伊与原新	文藝春秋
16	待っていても、はじまらない。深く前に進め	阿部広太	弘文堂
17	でも、生きてるし、今日も恋してる。	大橋グレース愛喜恵	宝島社
18	赤ヘル1975	重松清	講談社文庫

19	君の名は	新海誠	KADOKAWA
20	ちいさな人々	荻原浩	文春文庫
21	本日はお日柄もよく	原田ハマ	徳間文庫
22	本気になればすべてが変わる	松岡修造	文春文庫
23	無私の日本人	磯田道史	文春文庫
24	オンリーミー私だけを	三谷幸喜	幻冬舎
25	どんなに体がいたい人でもベターッと開脚できるようにするすごい方法	Eiko	サンマーク出版
26	鋼のメンタル	百田尚樹	新潮社
27	黒子のバスケインターカップ総集編 影と光	藤巻忠俊 平林佐和子	集英社
28	オードリーの悪いようにはしませんよ。ゆるっと7年史	オードリー	ぴあ
29	Be Ready 準備は自分を裏切らない	鈴木尚弘	扶桑社
30	陸王	池井戸 潤	集英社